

# オープンデータとGISを活用した市民参画のまちづくり



人文学部  
准教授 大西 宏治

## 研究分野

Research area

## 人文地理学

研究のキーワード ▶ まちづくり, 地理情報システム(GIS), 防災教育

## 研究内容

Research content

近年、オープンデータが広く公開され、フリーのGISソフトウェアも従事したことから、市民がまちを空間的な視点から分析的にとらえることができる環境が整いつつある。そこで、これらのツールの利用を普及させ、能動的にまちづくりを考える市民を育てるためにどのような条件や生涯学習カリキュラムが必要なのかを検討する。

## 研究のポイント

Research point

- 市民による地理空間情報を活用したまちづくりを検討
- オープンデータやGISを市民に普及する条件の検討
- 地図を活用した防災教育や地域防災活動といった観点でのまちづくりの支援につながる

## 研究への取組、今後の展望

- ①GISを利用した子育て支援マップに関する研究を特に子育て期の親やNPO法人などの参画を受けながら名古屋大都市圏実施してきた。
- ②2000年の東海豪雨以降、市民向けの防災教育や地域防災活動に取り組んできた。
- ③新旧の地形図比較やハザードマップというツールを使いながら地域社会の持続可能性について検討できる。
- ④企業のBCPについて、特に地域展開している企業に対して空間的な側面から具体的なアドバイスができる。
- ⑤地域社会のまちづくりに「地図」というツールを有効に機能させ、地域住民の合意形成を促す取り組みも行ってきた。
- ⑥地理空間情報を活用したコミュニティビジネスのあり方についても相談を受けることができる。

## 研究 REPORT

### オープンデータとGISを活用した市民参画のまちづくり

#### 地図を使った子育て環境評価



#### ハザードマップの利活用



地理空間情報を活用した持続可能な地域づくり